

令和元年度卓越した技能者「現代の名工」の被表彰者（福井県関係）

1 本県の受章者について（3名）

<p>氏名 (年齢)</p>	<p>①</p> <p>もりくに としふみ 森國 利文 (52歳)</p>		<p>職種名</p>	<p>鍛造工 (手かじ(鍛造)工)</p>
<p>所属</p>	<p>(自営) 上糸生工房 (丹生郡越前町上糸生 80-3-1)</p>			
<p>技能功績 の概要</p>	<p>作刀の鍛造に関し卓越した知識・技能を有し、美しい刀身を造るための材料づくりである「鍛錬」において特に優れた技能を発揮している。日本美術刀剣保存協会主催の「新作名刀展」において最高賞となる「高松宮記念賞」を受賞し、日本一の称号を得るなど、業界においても高い評価を得ている。</p> <p>また、伝統的作刀技能の継承とともに、日本刀に関する講演会や自宅工房での見学会を実施し、日本刀の魅力発信や普及に貢献している。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			
<p>氏名 (年齢)</p>	<p>②</p> <p>きよかわ としお 清川 敏男 (61歳)</p>		<p>職種名</p>	<p>めっき工 (化学めっき工)</p>
<p>所属</p>	<p>清川メッキ工業(株) (福井市和田中 1 丁目 414 番地)</p>			
<p>技能功績 の概要</p>	<p>無電解めっきによる接合技術開発・製造に長年従事し、卓越した技能を有する。当人が確立した様々な工法は、携帯電話やコンピューター用のプリント基板の大量生産・標準化を実現し、現在ではハイブリット車のモーター制御をはじめとする多くの電子機器で使用する半導体のめっき処理に適用され、業界の発展に大きく寄与している。</p> <p>また、後進への指導に加え、当人が持つ卓越した技能のデジタル化により技能継承に貢献している。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			

氏名 (年齢)	③ やまざき まさじ 山崎 昌二 (83歳)		職種名	織布工 (織布工)
所属	(株)山崎ビロード (越前市中津山町第9号29番地)			
技能功績の概要	<p>ポリエステルやレーヨン、和紙や絹などを織り込んだベルベット生地製造に卓越した技能を有する。革新的な技術により生み出される生地は世界的ファッションデザイナーに採用されるなど、ベルベット生地のカジュアルファッション分野進出を先導し、作品はニューヨーク近代美術館に永久保存されている。</p> <p>また、機械の調整方法や生地の製造について、学生や企業を対象とした講演や実技指導を行い、後進の指導・育成に貢献している。</p>			
				

## 2 「現代の名工」について

### (1) 趣旨

卓越した技能を持ち、その道で第一人者と目されている技能者を表彰するものであり、技能者の地位および技能水準の向上を図るとともに、技能の世界で活躍する職人や、技能の世界を志す若者に目標を示すものとして、昭和42年に創設

### (2) 表彰

毎年150名程度が受章 (20部門 約720職種)

厚生労働大臣より表彰状、卓越技能章(楯および徽章)および褒賞金(10万円)を授与

昭和42年度の創設以来令和元年度(第53回)の表彰まで全国で6,496名が受章

### 【参考1】令和元年度「卓越した技能者の表彰」のデータ(全国)

- ・受章者数 150名(うち女性11名)
- ・平均年齢 66.4歳(うち女性72.8歳)
- ・最高年齢 90歳
- ・最低年齢 40歳

【参考2】福井県関係の「卓越した技能者の表彰」のデータ

- ・受章者数 74名（うち女性4名） ※令和元年度被表彰者を含む。
- ・過去5年間の受章状況

受章年度	氏名（敬称略）	職種
平成30年度	山田 秀樹	漆工
	勝木 晴一	楽器調整検査工
平成29年度	畠中 昭一	漆工
	司辻 光男	ろくろ成形工
	立松 栄治	建築板金工
	鷺田 富江	れんが・かわら類 成型工
	木戸口 武夫	研磨用炭製造工
	畑池 久満	日本料理調理人
平成28年度	孝治 太士	板金工
	土本 保	指物職
	長田 榮子	紙手すき工
	下坂 正範	室内装飾工
	柄本 忠彦	漆器加飾工
平成27年度	高村 利幸	刃物製造工
平成26年度	土井 直紀	造園工
	清水 正義	丸物木地師
	加福 清太郎	漆器加飾工